

秋田市ホームページで市長の動向や記者会見の内容などをお伝えしています。
<http://www.city.akita.akita.jp/>

市長ホームページ コラム

市長 佐竹敬久



ちよつと言いつくいでござりますが

大酒飲み再考

秋田では、友人や客を夜の飲食に誘う場合に「ちよつと飲みに行こう！」というような表現をするのが一般的ではないでしょうか。しかし、他県では「飯を食いに行こう！」というような表現が多いように感じられます。

これは、酒と食のどちらに重きを置くかということにほかならず、秋田の場合には酒をたくさん飲んで酔うことが主で、食の方は酒の肴という形態を表しています。

それが、他県ではまずは食が主で酒は食を進めるための潤滑剤としてとらえていることを意味します。

良質な米と清浄な水に恵まれた本県は清酒が代表的な地場産業で、「米の秋田は酒の国」、「美酒王国」、はたまた「酒豪度日本一」というようにさまざまな冠が授けられております。

しかし、古来から「百葉の長」と言われるように、適度な飲酒はプラスに働きますが、度を越した飲酒は弊害を生じさせます。

本県はガン、脳血管疾患、心疾患



適度な飲酒は「百葉の長」ですが...

による死因が上位を占める短命県で、これには少なからず過度な飲酒によるところもあるとされております。

また、アルコール依存症やそれに起因した暴力や家庭崩壊、飲酒運転の多発、加えて、定かではないものの自殺率の高さとも関連づけられたり、あげくの果てに「秋田県人は睡眠時間が長く、実は働かない」などと、酒好きに起因する面も少なからずあるのではないかと思われる不名誉な県民性まで指摘されます。

酒造県の県内では、酒に関する批判的なことは口に出しにくく、かつ

て県民の健康づくりのため行政が主体となつて減塩運動を進めたことはあるものの、減酒運動というのは聞いたことがありません。

しかし、秋田の生産量を大幅に上回る酒造県の酒豪度は格別が高くはなく、もっぱら他地域に売ることに主眼をおいているようです。

実は、経済面では、人口減により縮小する県内市場よりも他地域への販売に力を入れたほうが効果的ですし、飲食業にしても酒一本槍ではなく、料理をたくさん食べてもらったほうが、売り上げや農水産物関連など地域産業に与える経済波及が高いと言えます。

旨い酒を自分たちだけで飲むのは幸せなことには違いありませんが、健康と経済の両方の観点からは、むしろ適正な地産地消のうえにたつた地産他消を進めたほうが効果的なことだと思われまふ。

ところで、酒好きでついつい飲み過ぎ傾向となる私自身、まずは「酔い」より始めようではありません。



★郷土で協働③



笑顔が一番ですね



運営員のみなさんです



写真上：小物づくりにみなさん真剣な表情
写真下：ウェルビューいずみこども園の園児たちと。「一緒に踊ろうね！」

ふれあい元気教室 住民同士の交流の 場を演出しています

地域住民の交流をはぐくむ分野でも市民協働の取り組みが始まっています。地域の高齢者が集まってなかなか時間を過ごしている「ふれあい元気教室」。

泉地区では地域の人たちが自分たちで企画・運営し、毎月楽しい教室を開いています。

地域住民の“特効薬”

「ふれあい元気教室」は、ひとり暮らしや外出する機会が少ない高齢者のかたがたを対象に、港北、土崎、上北手、明徳、四ツ小屋など市内十地区で毎月一回開かれている催しです。食事と健康に関する講話や運動、レクリエーションなどをみんまで楽しみ、参加した人たちの心と体がいっぺんに元気になる、地域住民の特効薬のような存在になっています。

住民主導型に発展

この教室は当初、保健所が主催する行事を地区のみなさんに手伝ってもらう形で始めましたが、最近その方式が変わってきた所もあります。

泉地区では、今年度から地区の人たちが、企画から運営まですべてを取り仕切ってこの教室を開いています。これまでの三年間は、保健所の担当者と一緒にやってきましたが、今年からそれを住民主導に発展させました。

泉地区での取り組みは、泉地区社会福祉協議会が運営員を公募することからスタート。運営員は五十〜七十歳代のかた約二十人が集まり、市や地区の経験者から助言を得ながら、年間スケジュールを作りました。

日ごろから参加者をよく理解している運営員のみなさんが企画・運営する教室は、参加者の立場になって考えられていて、内容もたいへん充実。月一回の開催日を心待ちにしている人が大勢います。

八月五日には、福祉複合施設・ウェルビューいずみで、小物づくりに挑戦したり、施設内にある保育園の子どもたちとのふれあいを楽しんだりしました。

みんなの笑顔を糧に

参加者や地域の人たちの笑顔と笑い声が広がる「ふれあい元気教室」。泉ふれあい元気教室運営員の糟谷開子さんは、「今日の催しはとても楽しかったよ！という参加者のみなさんの心からの笑顔が、何よりもうれしいですね。これを励みにがんばっています」と話してくれました。

地域住民が中心となって開催している「ふれあい元気教室」は、泉地区のほか御所野、新屋、將軍野の各地区でも行っています。

地域の仲間同士でちょっとだけ汗を流して、こういった交流の場が増えていくといいですね。

泉地区「ふれあい元気教室」の様子は市政テレビ5分番組でも9月29日(水)、10月2日(土)に放送します。